

**製品名: CD121B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82618**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD121B
別名	IL1R2;IL1RB; IL1R2c; CDw121b; IL-1R-2; IL-1RT2; IL-1RT-2
遺伝子 ID	7850.0
SwissProt ID	P27930
免疫原	HEK293-6e 細胞上清中に発現したヒト CD121B (AA: 追加 14-343) の精製された組み換え断片。

**背景**

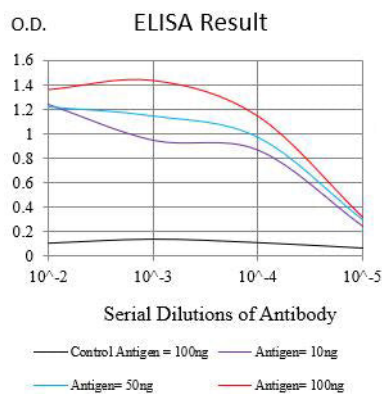
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 受容体ファミリーに属するサイトカイン受容体です。このタンパク質は、インターロイキン  $\alpha$  (IL1A)、インターロイキン  $\beta$  (IL1B)、およびインターロイキン 1 受容体 I 型 (IL1R1/IL1RA) に結

合し、そのリガンドの活性を阻害するデコイ受容体として機能します。インターロイキン 4 (IL4) は、このサイトカインであるインターロイキン 1 の発現と放出を誘導することで、その活性に拮抗することが報告されています。この遺伝子と他の 3 つの遺伝子は、染色体 2q12 上にサイトカイン受容体遺伝子クラスターを形成します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションとタンパク質アイソフォームが生成されます。選択的スプライシングにより、膜結合型タンパク質と可溶性タンパク質の両方が生成されます。また、タンパク質分解によって可溶性タンパク質も生成されます。

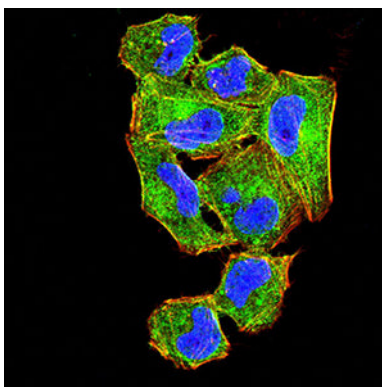
## 研究分野

MAPK シグナル伝達経路

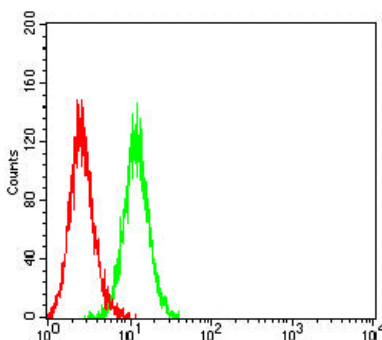
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD121B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD121B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。